

第16回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 平成25年度に行われた事業等の実績評価

都道府県名	事業等の名称	事業内容	本事業の効果・効果の要因・26年度に向けた改善点 (献血者数、参加者数等の数値で表せる場合は記載する)
富山県	(血液センター) 400mL複数回献血キャンペーン	事業所及び街頭献血で4月～9月に400mL献血者にキャンペーンカードを配布し、7月～3月に再度献血した人に記念品を進呈する。	<p>① <u>事業効果</u>・・・キャンペーンカード回収数 平成24年度：1,802枚 平成25年度：1,873枚 前年度比：103.9% 年々、キャンペーンが浸透してきている。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・キャンペーンカードと合わせて街頭献血会場を記載したポケットカレンダーを配布することで、次回の献血が可能な会場を案内することができた。また、献血依頼葉書も送付することにより献血会場に足を運んでもらえるようにした。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・年間2回実施している企業献血で配布する際、次回の献血予定を献血者に案内する。また、年1回の実施企業の場合はポケットカレンダーにて街頭献血の献血会場を案内する。</p>

<p>石川県 赤十字血液 センター</p>	<p>献血セミナー</p>	<p>県内各高校あてに献血セミナーの開催を依頼し、学校の要望に応じて、人数、規模、時間に合わせたカリキュラムを個別に作成・実施した。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・11校 12回の実施で、対象となる生徒 882 人、教員 74 人が受講した。 ② <u>効果要因</u>・・・国, 県, 県教育委員会が発出した文書をもとに、各高校にて献血の現状を説明し、献血セミナーの開催を依頼したため。 ③ <u>改善点</u>・・・1) 昨年度依頼したが、実施に至らなかった高校において実施する。 2) 未訪問の高校を訪問しセミナーの説明、開催依頼を行う。</p>
<p>福井県</p>	<p>献血セミナー事業</p>	<p>各高校に依頼文書を発出し、学校側の要望に見合った内容(時間・対象者など)で実施した。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・13校、2,300人が受講前年度より約1,000人増、セミナー以後に実施した学校献血で献血数が増加 ② <u>効果要因</u>・・・献血に理解して頂けた ③ <u>改善点</u>・・・実施校の増、内容の見直し</p>
<p>岐阜県</p>	<p>はたちの献血 キャンペーン</p>	<p>岐阜県大垣市の成人式会場にて、県のキャラクター「ミナモ」と「けんけつちゃん」による献血啓発を行った。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・新聞及びテレビにて取上げられた。 ② <u>効果要因</u>・・・着ぐるみの参加により、新成人にも親しみやすい啓発活動となった。 ③ <u>改善点</u>・・・献血実績につながるイベントを検討したい。</p>
<p>静岡県</p>	<p>アボちゃん サポーター事業</p>	<p>県内高校生徒 183 名に献血ボランティア「アボちゃんサポーター」を委嘱し、献血啓発広報活動を実施する。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・献血意識の普及(献血ボランティア本人だけでなく、周りの生徒や一般県民) ② <u>効果要因</u>・・・同世代に対しての呼び掛け効果に加え、他の年長者の年代に対しても高校生からの呼び掛けは効果的である。 ③ <u>改善点</u>・・・特になし</p>

静岡県血液センター	1629 プロジェクト (若年層献血者確保対策)	若手職員による企画を取り上げ、血液センター全体の取組み。 ・1629 イベントの実施。 ・オリジナル依頼ハガキの送付。	① <u>事業効果</u> ・・・イベントを実施し、献血者確保だけでなく、多くの年代に対し、今、若年層献血者が減少している状況などを訴えることができた。 ② <u>効果要因</u> ・・・部署の垣根を取り除き、若手職員の企画立案で、意識の協調が図られた。 ③ <u>改善点</u> ・・・特になし
愛知県	若年層対策事業	県内全ての高校1年生に献血啓発リーフレットを配布した。	① <u>事業効果</u> ・・・県内の高校1年生全員に、献血の必要性等について周知することができた。255校 約69,000枚配布 ② <u>効果要因</u> ・・・教育委員会の協力 ③ <u>改善点</u> ・・・特になし
愛知県 赤十字血液センター	「献血推進リーダー」 「献血大使」を活用した若年層献血推進・街頭活動	「献血推進リーダー」であるラジオパーソナリティー・磯貝祐介氏及び「献血大使」であるアイドルグループ・OS☆Uに若年層を中心とした献血啓発、広報活動 (期間：H25.6.30～H26.3.1)	① <u>事業効果</u> ・・・6会場8稼働分 400mL 372人 200mL 54人 若年層率45.5% ② <u>効果要因</u> ・・・地元若年層に人気を博すラジオパーソナリティー、アイドルの起用 ③ <u>改善点</u> ・・・経費の削減
	愛の献血 応援キャンペーン	「キャンペーンカード」を持参するか、「キャンペーンポスター」を撮影した画像を提示して、400mL・成分献血に協力いただいた、17歳から29歳の献血者に記念品を進呈する。 (期間：H25.7.1～H26.3.31)	① <u>事業効果</u> ・・・400mL 2,166人 成分 2,908人 ② <u>効果要因</u> ・・・通常の記念品に加え、キャンペーン記念品を進呈した ③ <u>改善点</u> ・・・記念品の内容

三重県	ヤングミドナ サポーター事業	若年層に対する献血推進として、高校生等学生の献血推進ボランティアを「ヤングミドナサポーター」として募集委嘱し、地域や学校等で献血啓発活動を実施。	平成24年度は登録者が453名であったのが25年度は622名と大幅に増やすことができた。 献血セミナーの開催依頼を高等学校等へ、保健所と血液センターが共に伺いに行ったこと、また、特に医療系を目指す学生に学校側が参加をすすめていただけたことが増加の要因と考えられる。
京都府	高等学校の養護教諭への協力依頼等の実施	○府立養護教諭の研修会において、献血の現状と課題について説明、献血セミナー等の実施について要請	① <u>事業効果</u> ・・・献血セミナー実施高等学校 ⑭年度5校→⑮年度10校 ② <u>効果要因</u> ・・・教育委員会と連携し、組織的に取り組んだため ③ <u>26改善点</u> ・・・高等学校における献血セミナーの取組をより一層推進するため、保健体育、養護教諭等を対象とした献血セミナーを開催予定
大阪府	①高校生による献血キャンペーン ②献血啓発作品募集事業	①高校生に街頭での献血の呼びかけ、ティッシュ配布、コミュニティFMに出演 ②若年層（16～29歳対象）を対象として献血を啓発する作品を募集	① <u>事業効果</u> ・・・ 1) 将来の献血を担う高校生に、啓発活動に参加していただき献血への意識を高める。（6校、32名が参加） 2) 募集チラシを高校生に作成していただき、受賞作品は近鉄難波駅等に展示し、若年層に献血の重要性等を啓発。（17校307作品応募）

大阪府			<p>② <u>効果要因</u>・・・ 公立高校美術研究会等でPRした。また、原画募集チラシは高校生に作成していただき、府下イオン（４店舗）、ローソンラック（８５店舗）に配架。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・ 引き続き参加者が増加するよう取り組む。 １）６校中４校が前年度未実施校 ２）応募学校数・作品数共に増加</p>
兵庫県	高校生献血推進ボランティア事業	若年層に対する献血啓発事業として、高校生自らが献血推進ボランティアとなり、校内行事等の際に、校内生徒や来校者に対し、献血啓発活動を行う。	<p>① <u>事業効果</u>・・・県内３３校の高等学校で実施し、高校生ボランティア計５４２人が啓発活動に従事した。実施校のうち、１６校で献血会、１０校で血液センターの献血セミナーを実施し、効果的な啓発が出来た。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・県教育委員会や私学総連合会を通じ、県下の高校に周知を行った</p>
兵庫県	夏季献血推進強調月間 年末年始献血推進 強調期間	血液が不足しがちな時期に、県民に献血への理解と協力を求め、官公庁及び企業等への職場献血を推進する。	<p>① <u>事業効果</u>・・・職場献血の協力を得ることができ、献血会の開催へ繋がった。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・市町、血液センターと連携し、広報及び献血会の周知に努め、また県内事業所等に職場献血への協力を依頼した。</p>
兵庫県 赤十字血液 センター	献血セミナーの実施	高等学校中心に生徒を対象とした献血啓発事業	<p>① <u>事業効果</u>・・・実施校数が飛躍的に増となった前年３２校をさらに上回り３７校に拡大した。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・教育委員会を通じた実施要請</p>

<p>奈良県 赤十字血液 センター</p>	<p>レッドクロス +フェスティバル</p>	<p>地域との交流、赤十字活動、特に献血事業について知って頂くことを目的に、血液センター駐車場を使い、赤十字祭りを実施。金魚すくい、スマートボール、バザー、非常食の炊き出し等、地元教育委員会・商店街・LC に協力を依頼し多数ブースを出展し開催した。 (「赤十字」の取組みとして支部・赤十字奉仕団・学生献血推進協議会と連携)</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・参加者約 850 名。地元住民の参加多数。小・中学生の参加も多く、若年層への PR にもつながった。楽しみながら赤十字の活動について知り、親しみも持っていたことができた。 ② <u>効果要因</u>・・・後援・協力団体協力のもと事前広報をおこなった。地域回覧板の利用や新聞折り込みチラシの使用などを利用し、イベント実施を広く地域住民に知らせることができた。夏休み実施のこともあり、若年層の参加も多かった。 ③ <u>改善点</u>・・・次回は献血の実施も検討に入りたい。夏開催であった為、飲食物提供の際の管理、熱中症・脱水症状への配慮が特に必要であったが、次回は気候の良い時期を選定したい。</p>
<p>和歌山県</p>	<p>データ放送による 広報</p>	<p>地元テレビ局の地デジ及びワンセグによる献血場所等の広報</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・放送を見て献血に来られる人が増加した。 ② <u>効果要因</u>・・・幅広い年代の人が、簡単に献血場所の検索を行える。</p>
<p>和歌山県 血液 センター</p>	<p>和歌山県学生献血推進協議会による献血啓発キャンペーン</p>	<p>和歌山市を中心とした県内大型スーパー等で献血啓発活動を実施</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・1年間を通じ 20 会場で実施し、1724 名の献血協力を得た。1 会場あたり 86.2 人 ② <u>効果要因</u>・・・同年代の学生ボランティアからの啓発により 10～20 代の献血者増加に繋がった。(10、20 代献血占有率 25.6%)</p>

滋賀県	若年層献血の推進	<p>高校献血の実施校数を前年度より増加させた。</p> <p>大学の稼働回数を前年度より増加させた。</p>	<p>高校献血の実施校数を9校から13校に増加させた。</p> <p>受付数：474名⇒846名</p> <p>採血数：335本⇒661本</p> <p>大学献血の実実施回数を39稼働から52稼働に増加させた。</p> <p>受付数：2,125名⇒3,025名</p> <p>採血数：1,729本⇒2,441本</p>
-----	----------	---	---

2. 26年度献血推進計画に盛り込まれている事業の取組予定

①学生献血推進ボランティア等（同世代からの働きかけ）の広報活動

都道府県名	<p>予定事業の概要 （事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。）</p>	<p>本事業を行うにあたっての連携・協力先 （連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等）</p>
富山県	<p>（血液センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア育成研修会の実施。 ・学内献血時及びサマー献血、クリスマス献血キャンペーン時の献血呼掛け等の実施。 	学生ボランティア
石川県 赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・学生献血推進ボランティアによる七夕キャンペーン、サマーキャンペーン、クリスマスキャンペーン時に献血を呼びかける。 ・各大学等の学内献血において、献血を呼びかける。 ・学生献血推進ボランティアの活動を紹介し、各大学等への献血サークル設立を支援する。 	石川県学生献血推進委員会 石川県学生献血推進連絡会

福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアによるキャンペーン（サマー・クリスマス・スプリング等）時に、企画・広報、当日の献血呼び掛けを実施 ・大学献血で、ボランティア学生が学生に呼び掛け 	福井県学生献血推進連盟
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の定期街頭献血会場及び献血ルームにて、毎月呼び込みを実施。 ・サマー献血キャンペーン、クリスマス献血キャンペーンの実施。 	岐阜県学生献血推進ボランティア連盟
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生献血ボランティア「アポちゃんサポーター」事業を実施する（県内 18 高校 180 名のボランティアを委嘱予定）。 ・大学生等の献血ボランティア育成等について、血液センターに委託して実施する。 	教育委員会、高校、大学、専門学校
静岡県血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・サマー献血キャンペーン、クリスマス献血キャンペーンの実施 ・1629 プロジェクト（若年層献血者確保対策）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生、専門学生、高校生等の献血ボランティア ・若手職員による企画を取り上げて、血液センター全体の取り組みとし、県内の学生ボランティア等と連携した事業とする。
愛知県	血液センターで開催する若年層向けポスターコンペティションを支援する。	愛知県赤十字血液センター
愛知県赤十字血液センター	東海北陸ブロック管内各血液センターが開催する若年層向けポスターコンペティションについて、県内各大学、専門学校、高等学校等へ周知する。 また、学生クリスマス献血キャンペーン（12月）時に入賞者の表彰式を開催し、県民各層へ周知する。	愛知県内の大学、専門学校、高校等 愛知県、名古屋市、日本赤十字社愛知県支部、東海北陸ブロック血液センター
	ラジオ番組に出演（血液センター職員、学生）	愛知県学生献血連盟 FM 愛知、CBC、ZIP FM 東海北陸ブロック血液センター

三重県	<p>高校生、専門学校生、大学生に対して、「ヤングミドナサポーター」を募集・委嘱し各地域における献血ページェント現場で啓発活動に協力していただき、さらに献血についての理解を深めるため、血液センター見学会を開催。</p> <p>また平成25年2月に設立された三重県学生献血推進連盟「みえっち」の活動をサポートしていく予定。</p>	<p>教育委員会と連携し、献血の啓発を図るための各学校における取り組みを進める。</p> <p>血液センターと共に高校、大学、短大等のボランティアサークルに働きかけ、若年層の協力団体の一層の組織の強化を図る。</p>
三重県 赤十字血液 センター	<p>各大学学内及び各ショッピングセンター等における三重県学生献血推進連盟「みえっち」による献血呼びかけ。</p>	<p>三重県在住の学生に呼びかけをして、三重県学生献血推進連盟「みえっち」の組織の強化を図る。</p>
京都府	<p>○京都駅前での献血キャンペーン（年3回）</p> <p>○献血ルーム等での献血キャンペーン（年7回程度）</p> <p>○高等学校養護教諭に対する献血セミナー参画</p> <p>○学生提案型のおぼんざい弁当企画（調整中）</p>	<p>京都府学生献血推進協議会、血液センター、ライオンズクラブ、京都府栄養士会 等</p>
大阪府	<p>① 校生による献血キャンペーンの実施</p> <p>② 年層を対象とする献血啓発作品募集事業</p>	<p>大阪府赤十字血液センター 日本赤十字社大阪府支部 教育委員会</p>
兵庫県	<p>高校生献血推進ボランティア事業を実施し、市町、血液センター及び関係機関に対し協力依頼を行う。</p> <p>（内容は、上記1参照）</p>	<p>市町、血液センター、教育委員会、ライオンズクラブ等</p>
兵庫県 赤十字血液 センター	<p>・大学学内献血の充実及び献血キャンペーンの実施</p> <p>・兵庫県学生献血推進協議会の加盟校増加</p> <p>・兵庫県学生献血推進協議会の facebook の立上げ</p>	<p>兵庫県学生献血推進協議会</p>

奈良県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭献血・学内献血等での献血 PR ・学推ホームページ（ブログ）での PR ・学推広報誌の作成、配布 	県、市町村、学校、報道機関
和歌山県 血液 センター	<p>学生献血推進協議会メンバー募集用リーフレットを作成し、大学等の学内献血時に配布。</p> <p>和歌山市を中心に県内一円で献血推進キャンペーンを行う。（年間28会場を予定）</p>	ライオンズクラブ、血液センター
滋賀県	<p>滋賀県学生献血推進協議会が中心となり、夏季（サマー）および冬季（クリスマス献血、バレンタイン献血）において啓発イベントを実施する。</p>	市町、ライオンズクラブ、日赤奉仕団等

②国民への献血実施の日時や場所等についての十分な広報活動

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	<p>(県・血液センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞（2社）「今日の献血場所」の掲載。 ・献血日程をホームページに掲載。 ・街頭献血日程を新聞（1社）、情報誌（1社）、市町村広報紙に掲載。 ・ポケットカレンダーに年度の街頭献血日程を掲載。 	報道関係、市町村
石川県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターホームページに献血日程を掲載する。 ・地元の新聞社の協力で献血日程を掲載する。 ・地元のテレビ局にて、6:50~7:00に当日の献血日時、場所をお知らせする。 	

福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・ NHK、各新聞社、民放ラジオ局で、当日の献血場所・時間をお知らせ ・ 血液センターのホームページに掲載 ・ 一部の市町広報紙に掲載 	NHK福井放送局（テレビ：朝の地域枠） 福井新聞、日刊県民福井、読売新聞（朝刊） 福井放送（朝ラジオ）FM福井（朝ラジオ） 福井街角放送（コミュニティFM）
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ（県・市町村・血液センター）や市町村の広報誌の掲載。 ・ 新聞朝刊の地域版に掲載。 ・ 民放ラジオでの放送。 	県・市町村 新聞社 県内ラジオ局
静岡県	民法ラジオ（AM、FM）で放送する情報提供コーナー（約3分間）の中で、献血実施の日時や場所等について周知を図る。	県内ラジオ局
静岡県血液センター	献血会場の日程を新聞、市町の広報誌、その他広報誌等に掲載する。	新聞社、市町、献血推進団体、ホームページ、複数回献血登録者へのメール、依頼ハガキ
愛知県	県ホームページや献血啓発用パンフレット等に、献血会場等に関する情報を掲載する。	愛知県赤十字血液センター、各市町村
愛知県赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ上で県内献血会場を地区ごとに掲載 ・ 新聞や市町村広報誌に献血会場を掲載 ・ 機関紙や告知用ポスター、チラシの活用 	各市町村、中日新聞社、読売新聞社、協力団体
三重県	<p>県ホームページや各保健所のホームページにおいて、献血情報として血液センターの献血予定表ページへのリンクを設けて紹介。</p> <p>「愛の血液助け合い運動」等の特別なイベント時には、報道機関等へ資料提供を行う他、市町広報紙掲載。</p>	血液センターと協議、調整を行い連携する。 市町等には、文書による依頼を行う。

三重県 赤十字血液 センター	血液センターホームページ・ツイッター・フェイスブック及びラインによる情報発信。 新聞地域版に掲載。	三重県学生献血推進連盟 新聞社
京都府	○地域の掲示板に掲載 ○血液センターホームページ「献血場所のご案内」に掲載 ○京都新聞「献血車情報」に掲載	血液センター、市町村、献血会場
大阪府	① 区広報誌等による献血実施の告知 ②日本赤十字大阪府支部広報誌「日赤大阪」に血液事業の紹介や献血施設を掲載する。 血液センターの広報誌を大阪府支部内に置く。	市町村、市町村献血推進協議会
兵庫県	県公式ホームページにて、献血ルーム及び街頭献血場所（血液センターホームページにリンク）について掲載。	血液センター
兵庫県 赤十字血液 センター	・ホームページを通じた情報発信 ・SNS（ツイッター、facebook等）を活用した情報発信	
奈良県	県・市町村等ホームページへの予定献血場所の掲載（血液センターホームページ予定表へのリンク） 啓発リーフレットへ配車予定表確認アドレスを表記	血液センター 血液センター
奈良県 赤十字血液 センター	・ホームページでの掲載 ・ハガキ・メールでの献血場所のお知らせ ・チラシ・ポスターでの啓発（市町村全てに掲示） ・新聞	県、市町村、報道機関

和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・地元テレビ局のデータ放送「けんけつちゃんねる」による広報 ・ホームページによる広報 	地元テレビ局
和歌山県 血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ和歌山のデータ放送に掲載 ・各ラジオ局での放送 ・新聞の各紙面に掲載 ・血液センターホームページに掲載 	テレビ局、各ラジオ局、各新聞者等
滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに献血運動の掲載 ・県庁記者クラブへの献血予定表の配布と新聞各社への献血実施場所の掲載依頼 	

③平成23年4月1日に施行された採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	<p>(血液センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの掲載。 ・チラシ、広報紙等への情報掲載。 ・献血実施先の担当者等にあらかじめ採血基準を説明したうえで、献血実施前に採血基準表を記載したチラシを社内等に配布、回覧して、周知を図っている。 	

石川県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・当センターが発行するリーフレット、パンフレット等に掲載する。 ・金沢市内路線バスに啓発ポスターを掲示する。 ・県及び市町献血担当課長会議において、周知を依頼する。 ・ライオンズクラブ会議において、周知を依頼する。 	
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターのホームページに掲載 ・献血セミナーの中で周知 	市町 教育委員会
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ（県、血液センター）の掲載。 ・献血及び献血登録推進用リーフレットへの記載。 ・高校2年生全員に配布するリーフレットへの掲載。 	県 県、県教育委員会
静岡県	民法ラジオ（AM、FM）で放送する情報提供コーナー（約3分間）の中でテーマとして取り上げる。	県内ラジオ局
静岡県血液 センター	各献血会場にて掲示、デジタルサイネージで表示	
愛知県	献血啓発資材に採血基準が改正されたことを記載し、配布する。	各市町村
愛知県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやJR名古屋駅デジタルサイネージにおける周知 ・献血セミナー、センター見学での説明 ・ライオンズクラブ例会、市町村担当者会議等で説明 	愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会 各市町村、各献血推進協議会、協力団体
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会へ働きかけを行う。 ・高等学校等に訪問し、学生ボランティアの依頼と併せて、広報を行う。 	教育委員会、市町、高等学校・大学等、事業所。

三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ホームページに掲載し、広報・周知を行う。 ・ポスター（チラシ）を作成し、保健所、市町、ページント会場等で配布する。 ・学生ボランティアの広報誌に掲載し、広報・周知を行う。 	
三重県 赤十字血液 センター	献血現場でのポスター掲示。	
京都府	<ul style="list-style-type: none"> ○地域献血推進組織の会議等 ○献血セミナー等 	京都府（保健所）、市町村、血液センター、地域献血推進組織、学校
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ①府・血液センターのホームページへの情報掲載。 ②市町村単位での広報。 	府広報協力団体 市町村、市町村献血推進協議会
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット等に掲載し、各種献血イベント等において配布。 ・県広報での周知など、機会を捉えて広く周知する。 	市町、血液センター
兵庫県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・配布品への基準改正明記（青少年等献血ふれあい事業、献血セミナー等で配布） ・ホームページを通じた情報発信 	兵庫県教育委員会 兵庫県青少年団体連絡協議会 ライオンズクラブ

<p>奈良県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛の血液助け合い運動及びはたちの献血キャンペーン期間における、県広報広聴課に関連するラジオ出演時でのPRの実施 ・県内の高校等1年生及び大学等1年生へ啓発リーフレットを配布 ・県ホームページにおける採血基準改正についての項目掲載の継続 	<p>県広報広聴課・県内ラジオ局</p> <p>血液センター、市町村、高等学校・大学等</p>
<p>奈良県 赤十字血液 センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの掲示（市町村等） ・ホームページでのお知らせ ・地元ラジオ局でのCM放送 	<p>県、市町村、報道機関</p>
<p>和歌山県血 液センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生学内献血時及び普段の献血時に周知 ・血液センターホームページに掲載 ・採血基準等の掲載リーフレット「知っている献血」を作成し配布 	<p>県内各高等学校</p>
<p>滋賀県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページに掲載 ・企業献血における事前説明や献血協力者などにパンフレットを配布 ・献血推進団体への説明 ・滋賀県赤十字血液センターのホームページに掲載 	

④「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	<p>(血液センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生(高学年)を対象とした血液センター親子見学会の開催。 ・献血出前講座の実施。 ・中学2年生「14歳の挑戦」職場体験の受入れ。 	教育委員会、中学生、小学生
石川県 赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・小学4年～6年とその保護者を対象に、夏休み期間中に3日間、計6回の血液センター見学会を実施する。 ・中学生を対象とした「中学生キャリア体験」を積極的に受け入れる。 ・高校生を対象とした「献血セミナー」を実施する。 	石川県、石川県教育委員会、金沢市教育委員会
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座として、小・中・高・短大・専門学校に出向いて、献血セミナーを実施 ・小学生(高学年)を対象とした「親子見学会」 ・中学生を対象とした「職場体験」 	教育委員会
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした献血セミナーの実施。 ・中学生の職場体験の受け入れ。 ・小学生を対象とした夏休み親子見学会、模擬献血の実施。 	<p>県、教育委員会及び各高等学校 血液センター近隣中学校 血液センター近隣小学校</p>

静岡県	献血セミナーについて、血液センターに委託して実施する。	高校、大学、専門学校
静岡県血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・献血セミナーの実施、職場体験学習や見学会 ・「県民の日」に子供たちの体験学習 	セミナー：中学生、高校生、大学生等 赤十字奉仕団、ライオンズクラブ 体験学習：小学生
愛知県	夏休み親子血液教室の開催 夏休み期間中に、小学生とその保護者を対象としたセミナーを開催。血液の大切さを学ぶDVD上映、血液センターの施設見学等を実施。	愛知県赤十字血液センター
愛知県赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・県と共催で、「夏休み親子血液教室」を開催 ・行政主催で、夏休みと春休みに「親子血液教室」を開催（1市、1町） ・血液・献血セミナー、施設見学会の開催 	愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会 各市町村、日本赤十字社愛知県支部 学生ボランティア 東海北陸ブロック血液センター
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアによる「血液センター見学会」の実施。 ・血液センターと共に高等学校等へ献血セミナーの開催を依頼。 	教育委員会・高校・大学等、血液センター
三重県赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生から高校生までもを対象として献血セミナーを実施。 ・高校生から大学生を対象にイベント献血にあわせて体験学習を実施。 ・キッズ献血の開催 	教育委員会から校長会への働きかけ。 県職員と同行して各学校への呼びかけ。 三重県学生献血推進連盟主催での開催
京都府	<ul style="list-style-type: none"> ○献血セミナーの開催 ○こどもレッドクロス隊（体験学習）の実施 	血液センター、京都府（保健所）、市町村、学校

大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ① 府内小学校を対象に「献血おもしろゼミナール」を開催。 ② 府内小・中・高校生を対象に「献血セミナー」を開催。 	<p>大阪府学生献血協議会 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会</p>
兵庫県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みこども見学会の開催 ・献血セミナー（小中高校生対象） ・青少年等献血ふれあい事業 	<p>行政（担当部署並びに各教育委員会等） 兵庫県青少年団体連絡協議会 ライオンズクラブ</p>
奈良県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・献血まるわかりゼミ（小学生・施設見学会） ・出前講座の実施（中学・高校・大学） ・職業体験等の受入 	<p>県、市町村、教育委員会、学校長会</p>
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血の必要性について、外部講師による献血学習を実施 	<p>実施高等学校</p>
和歌山県 血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に施設見学及びセミナーを実施 ・夏休みに親子で施設見学及びセミナーを実施 ・県内各中学校へ出向き血液センター所長よりセミナーを実施 ・高等学校及び大学へ出向き外部講師よりセミナーを実施 ・専門学校生や大学生を新センターに招きエントランスホール等でセミナーや施設見学を実施 ・センターでのイベント時にキッズ献血コーナーを設置し、子供たちが献血バスに乗車し模擬献血を体験 	<p>県、各市町村、各市町村教育委員会 年間で小学生359名、中学生295名、高校生1,176名、その他学生378名、大学生107名の参加を得ることができた。 また、キッズ献血には約350名の参加を得ることができた。</p>
滋賀県	<p>血液センターの「献血セミナー」や血液センター等での体験学習を積極的に活用してもらう。</p>	

⑤大学等における献血の推進及び将来の医療従事者をを目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
富山県	<p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等の入学オリエンテーションにおいて、献血への理解と協力の働きかけ。 ・「はたちの献血」キャンペーンに合わせ、献血を呼びかけるチラシを県内各大学に配布。 <p>(血液センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の大学、短大、専門学校献血時での献血キャンペーンの実施。 ・医学部学生(5年生)の見学会及び献血体験。 ・看護専門学校、短大での新入生を対象とした献血説明会の実施。 ・献血ボランティアの募集。 	大学、短大、専門学校等
石川県 赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・大学学園祭等に献血啓発ブースを設置する。 ・大学内献血を増やし、献血の機会を創る。 	石川県学生献血推進連絡会

福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県下の大学・短大に献血バスを配車し、献血経験ができる環境を多く作る ・ 学内献血時、学生ボランティアによる啓発活動を実施 ・ 臨床研修医に対して、 <ul style="list-style-type: none"> 1年次：血液事業オリエンテーションの実施 2年次：献血検診の実習研修 を実施 ・ 医療および看護専門学校における出前講座の実施や血液センターの施設見学の受け入れ 	福井県学生献血推進連盟 県内の各大学、専門学校、看護学校
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学内献血時での献血キャンペーンの実施。 ・ 大学内での学生ボランティア育成。 ・ 医学部学生研修の受け入れ ・ 看護学校への献血セミナー実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜県学生献血推進ボランティア連盟との連携 ・ 岐阜大学医学部 ・ 各看護学校
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生等の献血ボランティア育成等について、血液センターに委託して実施する。 ・ 献血キャンペーン期間中を中心に大学等で献血バスによる献血を実施する。 	大学、専門学校
愛知県	愛知県学生献血連盟に啓発資材を提供するなどして、大学生に対する献血の普及啓発活動を支援する。	愛知県学生献血連盟、愛知県赤十字血液センター
愛知県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県学生献血連盟に対する研修 ・ 大学、専門学校に対して献血セミナー等の実施 ・ 医療系大学生の研修受け入れ（東海北陸ブロック血液センター協働） 	愛知県学生献血連盟 医療系大学、各大学、専門学校 東海北陸ブロック血液センター

三重県	大学1年生に対して、献血の意義等を伝える資料を配布し、献血の普及啓発を行う。	大学
三重県 + 三重県 赤十字血液 センター	ヤングミドナサポーターや三重県学生献血推進連盟メンバーによる大学内啓発活動や文化祭等における献血活動及び看護学校の学生等に対する血液センターの見学会や研修会の開催。	大学、看護学校、三重県学生献血推進連盟、及び血液センターとの連携。
京都府	<ul style="list-style-type: none"> ○大学献血実施時に血色素量不足者等に対する「栄養相談事業」の実施 ○学生提案型のおばんざい弁当企画（調整中） ○大学生等向け情報紙での広報 ○看護学生対象の献血セミナー及び献血体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学、血液センター、京都府栄養士会 ○大学、血液センター、京都府栄養士会 等 ○血液センター、大学等 ○血液センター、赤十字病院、京都府医師会
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ① 「はたちの献血」、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」広報用ポスターを大学、短期大学に配布。 ② 大阪府学生献血協議会メンバーの血液管理センター又は近畿ブロック血液センター見学。 ③ 大阪府学生献血協議会による街頭献血キャンペーン ④ 大阪滋慶学園の就職フェスティバルに献血バスを配車 	<ul style="list-style-type: none"> ①～③大阪府学生献血協議会 ④大阪滋慶学園

<p>兵庫県 赤十字血液 センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学部学生実習体験の一環として献血ルーム内活動認定輸血検査技師制度研修における説明 ・ 学内献血実施における主体学生（団体）の育成 	<p>兵庫医科大学病院 認定輸血検査技師制度協議会 兵庫県学生献血推進協議会並びに各大学学生団体</p>
<p>奈良県</p>	<p>大学等キャンパス内において、献血を実施するとともに、学生献血推進協議会と連携して学生による献血啓発を行い、啓発を含めた自主的な献血参加を促す。</p> <p>啓発リーフレットの大学等窓口への設置や、入学者ガイダンス実施時における配布</p>	<p>血液センター、大学等・大学連合・学生献血推進協議会</p> <p>大学等</p>
<p>奈良県 赤十字血液 センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立医大での献血継続（学生主催） ・ 医師会看護学校・病院協会での献血継続 ・ 研修医等への講演会 ・ 学生献血推進協議会を通じた献血啓発の実施 	<p>学生献血推進協議会・学校・医師会・病院協会</p>
<p>和歌山県血 液センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学及び専門学校での学内献血を実施 また、献血セミナーの実施や血液センター施設見学を実施 ・ 県学生献血推進協議会メンバーによる各大学等での献血推進活動を実施 	<p>各大学及び各専門学校、県学生献血推進協議会</p>
<p>滋賀県</p>	<p>大学生の献血者の確保を図るため、大学構内に献血窓口を設置するなど、献血への協力要請事業を展開し、合わせて普及啓発を行う。</p> <p>大学体育会等の協力により組織を通じた協力を得る。</p>	<p>立命館大学、龍谷大学、滋賀医科大学</p>

3. 「献血推進2014」にある目標を達成するための重点的な取組み

① 献血の意義を理解していただく取組み（受血者の顔が見えるような広報など）

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県	(血液センター) ・輸血患者及び家族、輸血担当医師、看護師よりコメントを募集し、ホームページやチラシ等で案内する。	受血者及び家族、医療機関
石川県 赤十字血液センター	輸血用血液の使用の多い医療機関を通じ、「患者さんからの感謝のメッセージ」を募集し、献血啓発資材に活用する。	県内医療機関
福井県	・献血セミナーで、広報用DVDや献血CMを交えつつ、献血と輸血の現状と必要性を説明 ・ホームページのコーナー「こころをありがとう」で、体験発表等を掲載	
岐阜県	献血セミナー等で献血推進映画や献血セミナーDVDの上映	高校、大学、専門学校
静岡県	献血セミナーの中で献血の必要性を広報するDVDを上映する。	高校、大学、専門学校
静岡県血液センター	献血者から患者さんへの応援メッセージボードの展示	学生ボランティア・医療機関

愛知県	血液センター発行の機関紙を県内市町村に配布する。	愛知県赤十字血液センター、各市町村
愛知県 赤十字血液 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ内にバーチャル献血ルーム、キッズコーナーを新規開設 ・ 機関紙やホームページにおいて、献血体験者等の声を紹介 ・ 「血液・献血セミナー」において、受血者等による講演を開催 	認定特定非営利活動法人あいち骨髄バンクを支援する会
京都府	○血液センターホームページ、献血セミナー等様々な機会を通じて紹介	血液センター、医療機関、医師、輸血を受けた人、学校
大阪府	近畿ブロック血液センターで作成された「献血ってそうなんだ！」をホームページ上に掲載。	近畿管内全血液センター
兵庫県 赤十字血液 センター	10. 20 代の初回者ドナーの献血依頼時に患者さんの声を封書にて同封している。	
奈良県赤十字 血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸血を題材にしたDVD（本社制作）の貸出し ・ 受血者からのメッセージ冊子（近畿BC作成）の設置「献血ってそうなんだ（近畿BC統一企画）」 ・ 広報誌・HP・facebookでの情報発信 	県、市町村
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「高校生献血学習」、「献血セミナー」等を実施し献血の必要性や意義について理解を得る。 	実施小・中・高・専門学校等
和歌山県 血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生や大学生等を対象とした元受血患者の体験談などを交えたセミナーを実施 	大学、専門学校、高等学校 各学校へ訪問し、献血の重要性を訴え、セミナー等の協力要請

滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発資材の配布 ・高等学校文化祭時の献血ブース設置を依頼する。 	県内各保健所、市町、ライオンズクラブ等 県教育委員会、高等学校
-----	---	------------------------------------

② 10代の方々に献血の意義を理解していただき、初めての献血を安心して行っていただくような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県	(県・血液センター) <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校への献血セミナーの実施依頼。 ・10代献血者に対し献血の動機や必要性のアンケートを取る。(献血に対する思いを記入してもらう) 	県内高等学校
石川県 赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした献血セミナーを開催する。 ・高校(学園祭等)に献血広報パネルを貸出し、献血ブースを設置してもらう。 	石川県、石川県教育委員会、県内各高校
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、各種専門学校で、出前講座を実施 ・学祭に広報パネルの貸出 ・学校での献血推進広報映画の出張上映 	
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、大学献血時の献血広報パネルを展示。 ・高校の学園祭に献血広報パネルの貸出。 	高校・大学
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生献血ボランティア「アボちゃんサポーター」事業の実施(県内18高校180名委嘱予定) ・献血未実施校への訪問 	教育委員会、高校
静岡県血液センター	高等学校学内献血の事前に献血セミナーを実施する中で経験談等を取り入れる。	静岡県、教育委員会、公立・私立の高等学校

愛知県	県内全ての高校1年生に対して献血啓発リーフレットを配布する。	愛知県教育委員会、各市町村
愛知県 赤十字血液 センター	・小中高生を対象とした「血液・献血セミナー」の実施に向けて、愛知県教育委員会、各市町村教育委員会、私学協会を通じて各学校長へ依頼文の発出及び関係機関の会議、研修会等に出席。 ・高校に対して、セミナーに関するアンケート実施	愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、各市町村教育委員会、日本赤十字社愛知県支部
三重県	高等学校等に訪問し、学生ボランティアの依頼、献血への理解をお願いする。 高校3年生に対して、献血の意義等を伝えるチラシを配布し、献血の普及啓発を行う。	教育委員会、高等学校等 教育委員会、高等学校等
三重県 赤十字血液 センター	同世代の職員又はボランティアによる積極的な声掛けをする。	ヤングミドナサポーター 三重県学生献血推進連盟
京都府	○献血セミナー、献血ルーム見学会等の実施 ○高校生向けリーフレットの作成・配布 ○高等学校養護教諭に対する献血セミナー	○血液センター、市町村、学校 ○血液センター、教育委員会、高校
大阪府	○若年層に献血の重要性を訴えるため、10代、20代を対象として、献血を題材とした作品募集事業を実施。また応募作品を献血推進広報に活用。	教育委員会等
兵庫県	高校生献血推進ボランティア事業（上記1参照）	市町、血液センター、教育委員会、ライオンズクラブ等

<p>兵庫県 赤十字血液 センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年等献血ふれあい事業（献血普及啓発） （青少年団体とのコラボレーション） ・ アニメを活用した献血啓発キャンペーン ・ 兵庫県（西宮）と縁の深い「涼宮ハルヒシリーズ」の画像を活用し、若年層を中心とした年代層に親しみを持っていただき、献血への理解を求める。 	<p>兵庫県青少年団体連絡協議会</p> <p>アクタ西宮振興会 株式会社KADOKAWA</p>
<p>奈良県</p>	<p>県内の高校等1年生及び大学等1年生へ啓発リーフレットを配布</p>	<p>血液センター、市町村、高等学校・大学等</p>
<p>奈良県 赤十字血液 センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校内への広報誌・チラシ等の設置 ・ 初回献血者用ネックストラップの使用（継続中） ・ 初回献血者専用休憩エリアの設置（継続中） 	<p>県、市町村、教育委員会、学校長会</p>
<p>和歌山県</p>	<p>「高校生献血学習」を行い、献血の必要性及び意義について理解していただいた後、献血を行う。</p>	<p>主催高等学校</p>
<p>和歌山県 血液センター</p>	<p>高校生用献血推進リーフレットを作成し、各高等学校より生徒に配布</p>	<p>各高等学校</p>
<p>滋賀県</p>	<p>希望により県内高等学校等への資材の配布や「献血セミナー」等を活用するなど、授業の一環として献血思想の普及啓発を実施するよう働きかける。 高校、大学献血においては、献血前にジュース、お菓子等を提供することによりリラックスして献血していただく。</p>	<p>県内高等学校</p>

③ 20代の方々にリピータードナーとなっていただくような取組み

都道府県名	<p>予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)</p>	<p>本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)</p>
富山県	<p>(血液センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントの案内や献血依頼を葉書及びメールにて依頼する。 ・ 複数回献血クラブ会員への登録募集強化を図る。 ・ 400mL複数回献血キャンペーンの実施。 	
石川県 赤十字血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数回献血クラブ会員募集の強化を図る。 ・ 複数回献血クラブ会員を対象としたキャンペーンを実施する。 	
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人式の出席者に献血啓発チラシを配布 ・ 複数回献血クラブ会員への加入促進 ・ 複数回献血クラブ主催のイベントへの参加案内 ・ オンライン予約システム(成分献血)登録者の加入促進 	市町(成人式実行委員会)
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ルームでのアロマハンドトリートメント等若年層向けのイベントを実施 ・ 複数回献血クラブ会員への加入促進。 	
静岡県血液センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数回献血クラブ会員の募集。 ・ 献血ルームでの、ネイルケア、占い等のイベントの実施。 ・ 新入生(大学生等)への献血時における呼び掛け。 	大学、専門学校

愛知県	400mL 複数回献血キャンペーン 400mL 全血献血を複数回行った人に対し、記念品を贈呈。記念品は、若年層に人気のあるキャラクターを活用したオリジナルグッズとする。	愛知県赤十字血液センター
愛知県 赤十字血液 センター	・愛知県学生献血連盟主催の献血キャンペーンの支援（サマー、クリスマス、スプリング） ・10代・20代限定キャンペーン（地域活性化事業）	愛知県学生献血連盟、協力団体
三重県	新成人に啓発資材を配布し、啓発を行う。	市町
三重県 赤十字血液 センター	・複数回献血クラブへの入会依頼 ・誕生日献血のはがき依頼	
京都府	○バーステーカー・献血依頼はがきの送付、メール送信 ○ホームページ「献血 friends」で広報	血液センター
大阪府	複数回献血クラブ「けんけつE倶楽部」のイベント等の取組み及び募集告知の充実及び登録キャンペーンの実施	
兵庫県 赤十字血液 センター	複数回献血クラブの充実、新規会員の確保	
奈良県 赤十字血液 センター	・大学前や最寄駅に記念品引換券を入れたポケットティッシュの設置 ・献血時に自分宛の依頼ハガキを書いて頂き、血液不足時に発送する。 ・大学献血用の記念品の制作 ・複数回献血クラブ会員への登録 ・イベント・サービスの充実	

和歌山県 血液センター	若者が喜ぶ記念品を用意し、献血クラブ入会キャンペーンを複数回実施	県学生献血推進協議会
滋賀県	複数回献血クラブ「くるくるトマト」の体制を強化し、加入者の確保に努めるとともに会員サービスの向上に努める。	大学

④献血者が心の充足感をより得られ、安心快適に献血を行っていただけるような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県	(血液センター) ・献血受付や待合場所等の環境改善を行う。 (H26年度検診車リニューアル予定)	
石川県 赤十字血液 センター	・献血ボランティアを募集、育成し、献血者の誘導、接遇を行う。 ・移動献血では、大型検診車を積極的に活用し、待合室時の献血者への負担を軽減する。	
福井県	・固定施設では、予約制の導入により献血者の待ち時間が少なくて済むよう配慮する	
岐阜県	・移動採血では、検診車を積極的に活用する。	
静岡県血液 センター	・DVD、雑誌の充実、飲み物、お菓子のサービス、季節に合わせた飾り付け等。	学生ボランティア、他一般のボランティア
愛知県 赤十字血液 センター	・各献血ルームへのビデオ・オン・デマンド(映画等の配信)の設置 ・職員への研修等によるレベルアップ	東海北陸ブロック血液センター

三重県 赤十字血液 センター	津献血ルームの待合・休憩所の有効利用	
京都府	○献血ルームの整備（通年）	血液センター
兵庫県 赤十字血液 センター	既設献血ルームの環境整備 移動献血バスの環境整備（受付、接遇場所）	
奈良県 赤十字血液 センター	献血後のウィダーinゼリーの提供（継続） （VVR 予防対策） 漫画・文庫・雑誌等の充実、整備（継続）	
和歌山県 血液 センター	・県学生献血推進協議会主催の献血啓発キャンペーン時に輸血患者の声を集めて献血会場に掲示 また、季節に応じた記念品の提供や飲み物を提供 ・献血ルームにおける各種イベントを実施	県学生献血推進協議会
滋賀県	献血者の要望の把握に努めるとともに初回献血者に対しては不安を払拭するため、十分な事前説明を実施し、献血者の安全確保に努める。 新設された「びわこ草津献血ルーム」、7月開設予定の血液センターの利用促進を図る。 献血環境の厳しい時期に、ホテル献血、オープン献血を実施する。	ライオンズクラブ、提携ホテル、複合商業施設（イオンモール等）

4. 27年度の献血推進計画への記載を要望する事項

都道府県名	27年度献血推進計画への記載を要望する事項。 （特段に希望する事項があれば記載してください。）	記載を要望する理由
13府県	なし	